



義務教育学校「みどりの杜 木城学園」学校経営方針

1 みどりの杜 木城学園について

本校の前身である木城小学校及び木城中学校は、それぞれに創立以来営々として優れた伝統や格調高い校風を築き、特色ある学校づくりを行ってきた。また、町教育委員会においては平成23年度から小中一貫教育の推進を主要施策に位置付け、各校においては児童生徒の一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすための取組等を進めてきた。

このような地道な取組を基盤に、本年度から義務教育学校「みどりの杜 木城学園」として新たにスタートする。両校の歴史と伝統を受け継ぎ発展させていくために、新設された施設一体型の校舎において、教育目標や教育課程に一貫性をもたせた「木城ならではの教育」を学校と家庭と地域が一体となって推進していくこととし、次の校是・校訓を基に学校経営を行う。

2 校是・校訓

校是 「夢を抱き元気なあいさつと笑顔があふれ子どもの生命と瞳が輝く学校」

校訓 「立志」

変化の激しい社会を生き抜いていくためには、自ら考え行動し自己の未来を切り拓いていく力が必要であり、時代が変わろうとも、「夢をもち、夢実現に向けて努力を重ねること」は大切な営みである。本校では今後も「志を立てて努力する力」を育成する教育活動を大切に、推進することから、校訓として設定した。

3 教育目標

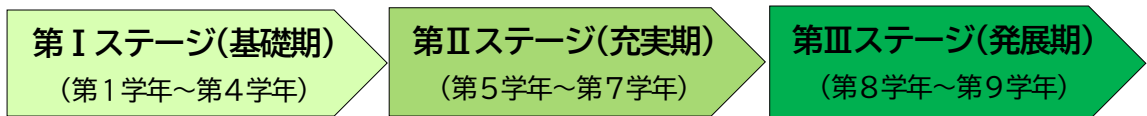
ふるさと木城を愛し	〔地域・家庭・学校の思い〕
目標をもって主体的に学び	〔知〕
思いやりとやさしさのある	〔徳〕
心身共にたくましい	〔体〕
児童生徒を地域と共に育成する	〔地域・家庭・学校の思い〕



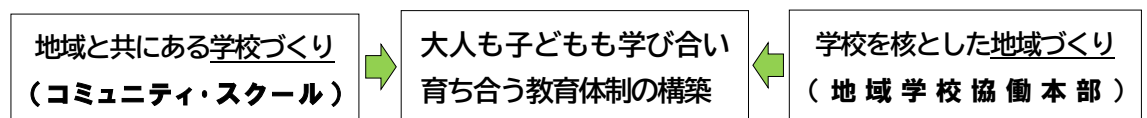
4 経営の基本方針

「宮崎県教育基本方針」及び「木城町教育大綱・教育基本構想」を踏まえ、以下の2点を基本方針とする。

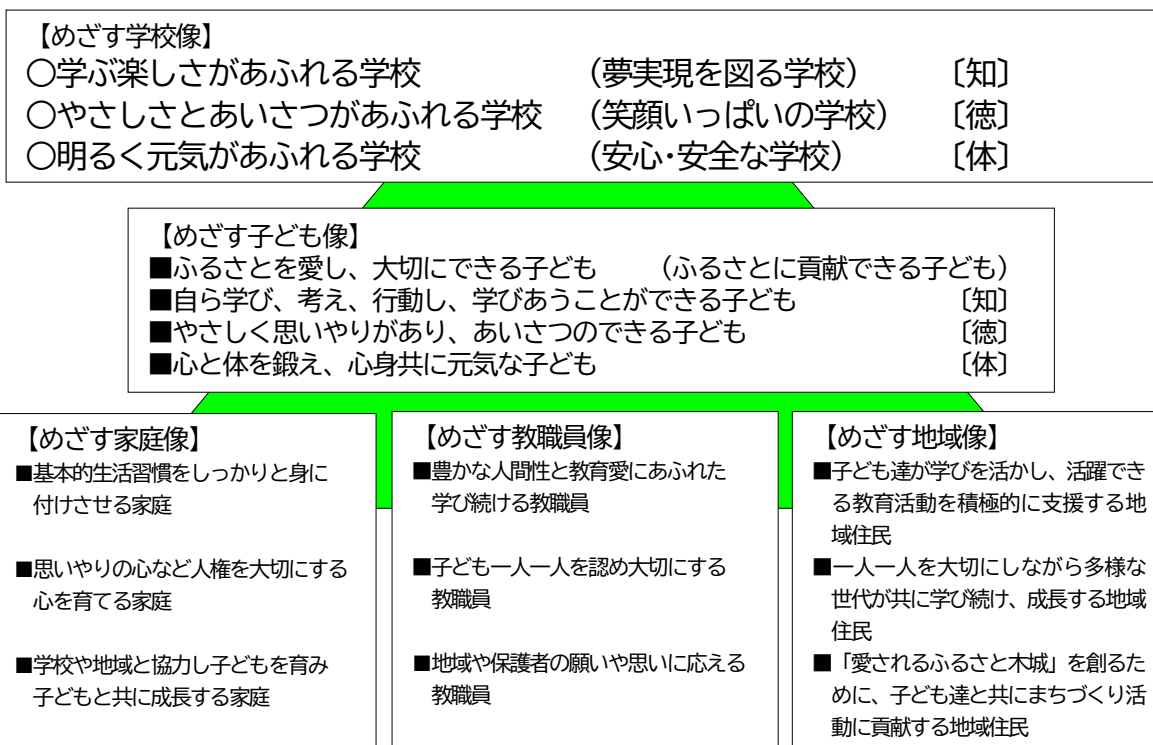
(1) 9年間を見通した活力と創造に満ちた組織的な教育活動や、系統性・連続性のある教育活動の展開による、社会性や調和のとれた人間性の育成を図る。



(2) 学校づくりは地域づくり、地域づくりは学校づくりの考え方の基、家庭や地域、企業・団体等と連携・協働した教育活動を推進し、学校・家庭・地域がともに学び合い育ち合う「木城ならではの教育」による、ふるさとを愛する心情や態度の育成を図る。



5 めざす像



6 特色ある教育活動

キータイム
(ふるさと・キャリア教育)

子ども達が地域や社会に関心をもち「ふるさと木城」への誇りと愛着を高め、地域に主体的に関わろうとする態度を育成するとともに、9年間を通して自分の生き方や進路を考え、将来を切り拓いていく能力の育成に地域とともに取り組む。

外国語教育

外国語活動と英語科とのスムーズな接続に留意しながら、英語によるコミュニケーション能力を高めるとともに、自国の文化理解と外国語や外国の文化に対する理解と尊重する態度の育成に取り組む。

ICT教育

ICTを活用した学習指導の充実を図るとともに、子ども達が情報や情報手段を主体的に選択し活用していくための基礎的な資質(情報活用能力)の育成やプログラミング教育の円滑な導入に取り組む。

7 本校ならではの取組

**合同行事
異学年交流等**

合同行事や異学年交流を計画的に実施し、豊かな人間性やコミュニケーション能力を育成する。また、保育園との連携を図り長期的な視点に立った教育の充実を図る。

**教科担任制
学年担任制**

5年生から全教科での教科担任制(1～4年生は専科制の導入)を導入し、専門性を活かした学力向上と細かな児童生徒理解と対応による生徒指導の充実を図る。また、学年担任制を段階的に導入し、児童生徒の実態把握のさらなる充実やきめ細かな対応を図る。